

# 山江村議会だより Maruoka

No.82

こんにちは あかちゃん



## 写真の説明

とよおか りゅうひ

豊岡 龍飛くん 令和3年7月20日生

元気に生まれてきてくれてありがとう。  
龍飛はみんなのかわいい宝です。昇龍  
お兄ちゃんに負けないぐらい、元気いっ  
ぱいに育ててほしいです。(8区)

## 目次

- |                    |      |
|--------------------|------|
| ○令和2年度決算の概要        | P2~3 |
| ○一般質問              | P4~9 |
| ○令和3年第6回山江村議会臨時会報告 | P10  |
| ○令和3年第7回山江村議会定例会報告 | P11  |
| ○編集後記「だんだんなあ」      | P12  |

過去最大規模の令和2年度  
決算が認定！

令和3年10月31日発行 発行：山江村議会 編集：広報編集特別委員会

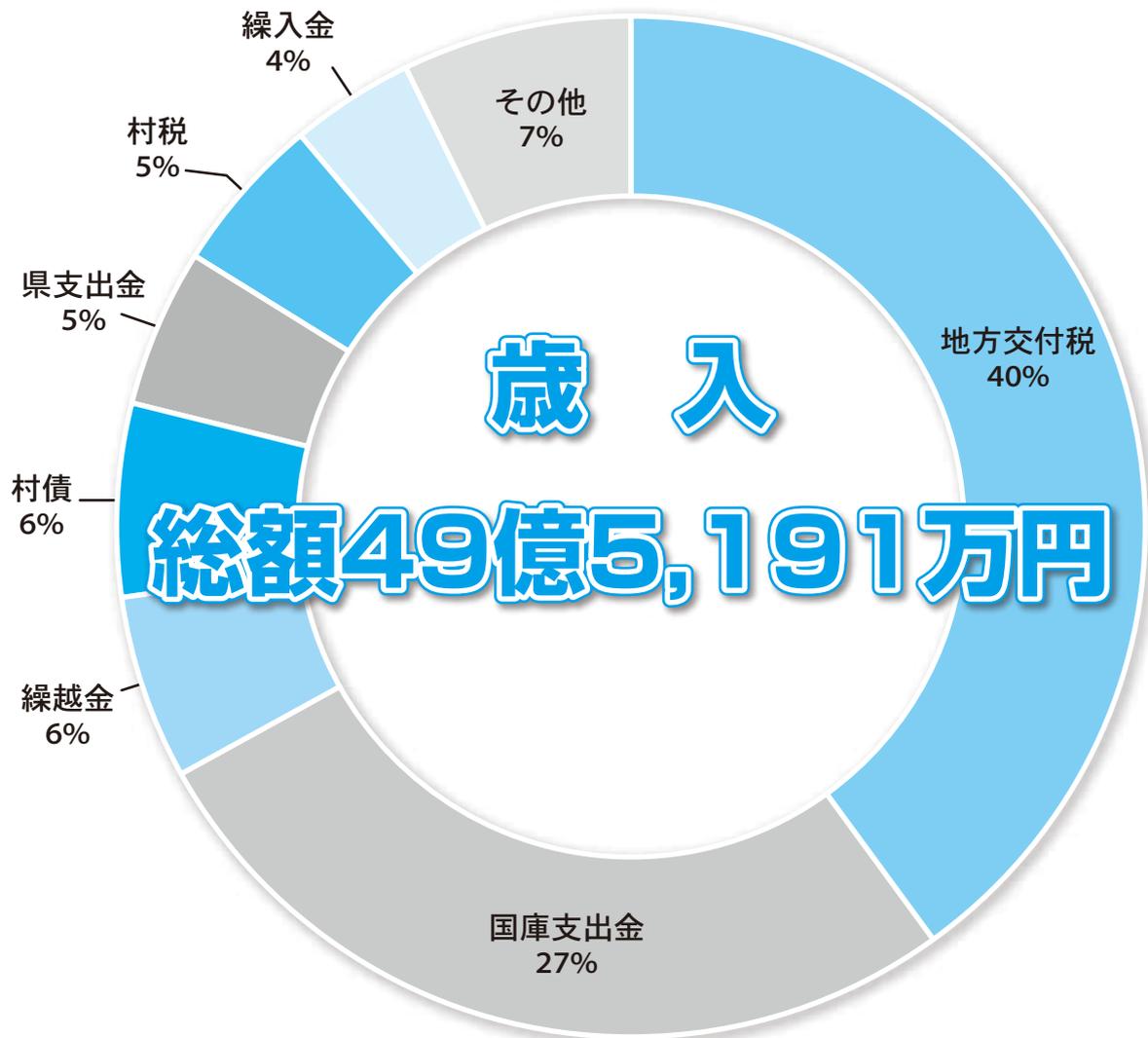
熊本県球磨郡山江村大字山田甲1356-1 ☎(0966)23-3401 FAX(0966)24-5669 山江村城内電話 ☎23-3401

① 山江村議会だより 令和3年10月31日発行

# 過去最大級の決算となる！

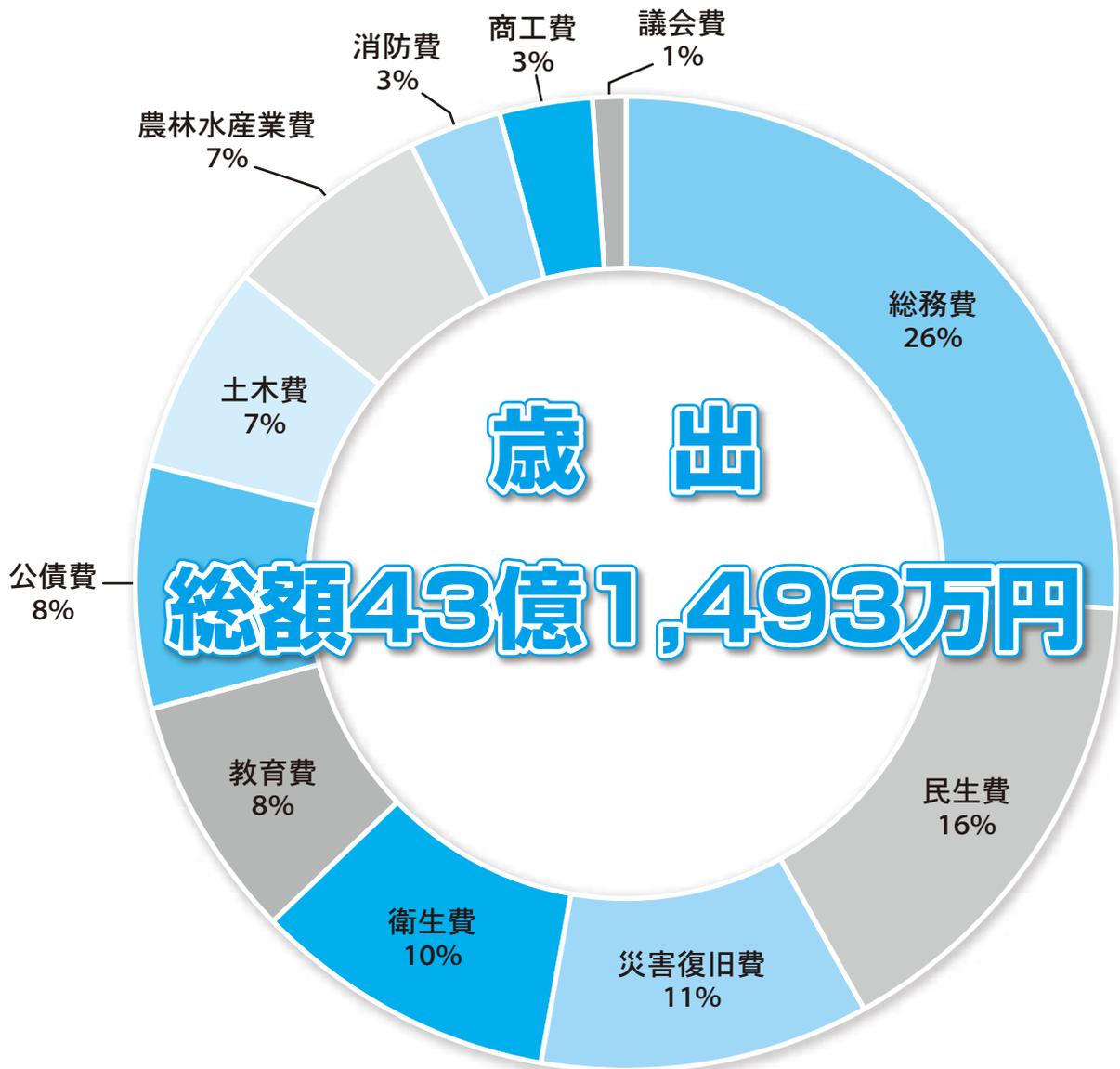
令和3年第7回定例会が9月7日から14日までの8日間の会期で開かれ、その中で令和2年度一般会計及び特別会計の認定がなされました。

昨年度は7月豪雨災害とコロナウイルス対策と過去に見ない経験をし、歳入歳出においても異例の決算となりました。一般会計のみのグラフがこちらです。



## 主な名称の説明

項目	説明	決算額
地方交付税	それぞれの市町村の財政格差を小さくするため、国から支給されるもの。使い道は自由。	19億8,702万
国庫支出金 県支出金	義務教育や道路整備など特定の費用の一部として、国や県から支給されるもの。使い道が決まっている。	(国) 13億5,218万 (県) 2億2,934万
村債	国からの借入金。	3億980万
繰入金	基金（いわゆる預金）等を一部取り崩し、繰り入れるもの。	2億511万



### 公債費・・・国から借入した分の元利返済

グラフを見るとわかる通り、歳入では上位2項目の地方交付税、国庫支出金で全体の約7割を占めています。いずれも国から支給されるもので、令和2年度においては、新型コロナウイルス対策にかかる交付金や7月豪雨災害に係る災害復旧費補助金等が例年には無い増加分でした。それに伴い、歳出においても災害復旧費、特別定額給付金等を支出した総務費、民生費等が上位を占めています。歳入から歳出を差し引くと6億3,698万円（形式収支額といいます。）となりまして、それから翌年度へ繰り越すべき財源（繰越明許）が2,308万円ありましたので、それを差し引いた金額6億1,390万円（実質収支といいます。）が令和2年度決算となりました。尚、特別会計の収支については以下の通りです。

会 計	歳 入	歳 出	差 引 額
国民健康保険事業	4億7,694万円	4億3,909万円	3,785万円
簡易水道事業	2億1,196万円	2億946万円	250万円
農業集落排水事業	1億7,356万円	1億6,562万円	794万円
介護保険事業	4億6,103万円	4億1,627万円	4,476万円
後期高齢者医療事業	3,888万円	3,737万円	151万円
ケーブルテレビ事業	6,829万円	6,065万円	764万円



中村 龍喜 議員

## 農業後継者担い手育成の 対策について 有害鳥獣被害の状況と電気柵の 共同利用の維持管理について

**問**

本村の農業後継者、担い手の育成対策についてどのような考えをもっておられるか

**答 産業振興課長**

まず、農業の現状として昨年実施された農林業センサスでは、本村の農家戸数は、239戸となっており、経営主の状況では65歳以下が86戸、36%、65歳以上が153戸、64%となっており、後継者を確保している経営主は45戸で19%、確保していない、経営を引き継がず辞めると回答された経営主は194戸81%となっている。後継者、担い手の確保対策は、農林業が基幹産業である本村はもとより、多くの農村自治体でも、長年の懸念事項でありま

す。しかしながら本村では若い人の新規就農も出始めており、就農の相談も寄せられている。外部人材の活用、移住定住施策と併せた就農の斡旋、また就農支援としましては認定農業者に對しまして、農地流動化の助成、機械導入、施設整備などの助成制度など活用し後継者対策を推進していきたいと考えている。



**問**

有害鳥獣被害の状況と電気柵の共同利用の維持管理について

**答 産業振興課長**

昨年度の本村有害鳥獣捕獲頭数は、鹿737頭、猪251頭、穴熊80頭、カラス7羽となっている。被害状況については、令和2年度で面積が3.1ヘクタール、被害額が109万円となっており、これは農家から寄せられた数値である。防護柵等



水田共同電気柵

については防護ネット、ワイヤーメッシュ柵、電気柵等の設置を国の補助を活用して進めている。対象が3戸以上の農家の方の申請となっているが、隣地がない場合は、1戸でも受け付けているが概ね3戸以上という事で役場の方は受け付けている。共同利用については、畦畔等の除草作業がされない場合、漏電等があり被害を被るので適切な管理をお願いしたい。広報誌やケーブルテレビ等でも呼びかけをしていきたいと考えている。





西 孝恒 議員

# マイナンバーカードの普及促進状況は！ 行政のデジタル化推進について

**問**

本村に於けるマイナンバーカードの普及率や交付状況、セキュリティ安全性等について。

**答 健康福祉課長**

交付状況については、直近の令和3年7月末で1,236枚交付率35.9%となっていて県内でも10位の位置にある。マイナンバーカードには偽造防止のため、様々なセキュリティ対策が施されている。発効日から申請者の10回目の誕生日、二十歳未満の方は5回目の誕生日で有効期間を迎える。

**問**

現時点で受けられるマイナンバーカードの利便性、行政サービスや今後本村独自の取り組みによる住民サービス提供等、新たな利活用の考えは。

**答 健康福祉課長**

村民の方にとっては、行政での手続きにおいて添付が必要とされる住民票や課税証明などの書類が省略できる。行政側では、各行政機関の間で情報が連携され事務の効率化が図られる。

オンライン申請を行うにはそのシステムを導入する必要から今のところ行っていない。国の動向を注視し効果的な活用を検討して行きたい。

本村独自の新たなサービスや利活用については、ハードウェアの調達など新たなシステムを構築する必要がある、様々な維持管理費に多額の費用が発生する見込みであり、現時点での導入は難しいと考える。しかし国の制度に対して費用対効果など財政措置等も含め取り組みを検討して行きたいと考える。



**問**

コロナ禍対策の一貫としても行政のデジタル化が急務といわれ推進されるなかで、本村におけるデジタル化推進の現状について。

**答 企画調整課長**

山江村のデジタル化では、いち早くICTの活用を各分野で進めてきている。

これからのデジタル化を進める上で、マイナンバー制度の普及は欠かせないものであり、そのマイナンバーカードの申請は現在役

場窓口のほかに個人の携帯電話からでも申請可能となっている。

コロナ禍対応としてもテレワークや分散業務の実践、これまで現地での説明会や会議等はオンライン会議が中心になっている。セキュリティ対応も現行のシステムでは、随時対応しているが、国が示す自治体情報システムの標準化共通化マイナポータルと自治体の基幹システムのオンライン接続などは現時点では、まだ進んでいないが今後計画的に取り組んでいくことが重要である。





横谷 巡 議員

## 新型コロナ感染など 「村民の声」を しっかりと！



### 小中学校の新型コロナ 感染症防止対策は

**問**

コロナ禍にあつて夏休みを短縮された意図、子供たちを守るための学校現場での対策について伺う。コロナ禍にあつて夏休みを短縮された意図、子供たちを守るための学校現場での対策について伺う。

### 答 教 育 長

感染拡大による一斉休校等の不測事態への備えと学びをしっかりと保障するために短縮した。毎日の検温、マスク着用、3密回避、換気等の感染対策、感染者が出た場合、休校措置、分散投稿、オンライン学習の対応を考えている。

### 役場職員から感染者が出たことについて

**問**

村民を守るべき行政、役場職員からコロナ感染者が出たことについて村長の見解を伺う。

### 答 村 長

3密の回避、濃厚接触者に自分にならないこと、自分が感染者にならないことをお願いしてきたが、非常に残念な結果である。今後、しっかりと感染症対策を役場も含めて、村民の方々にもご協力をお願いしていきたい。

### 感染者発生による役場の閉庁について

**問**

2日間、役場を閉庁されたが、村民への周知方法は。

### 答 総務課長

役場ホームページ及びケーブルテレビにて周知し、来庁者には役場玄関の看板でお知らせした。

**問**

医療災害ともいえる緊急事態であり、防災無線で村民への周知をすべきであったと考えるがどうか。

### 答 総務課長

今後は緊急的に閉庁する場合には、防災無線による周知も検討したい。

### コロナ禍における独居高齢者弱者の見守りは

**問**

長きにわたるコロナ禍で、心の疲れによる健康状態や暮らしの状況が心配される。一段ギア上げての見守りはできないか。

### 答 健康福祉課長

日常生活の暮らしに健康不安がないか、民生委員や見守りネットワーク協力員に協力をいただいている。

### 村道の時間帯通行について

**問**

下払・大平地区に通じる2本の道路はいづれも災害、治山工事で交通止めとなつている。時間帯通行はできないのか。

### 答 建設課長

工事区間を通行しているときの安全が確保できないので工事期間中は、迂回路となる下払権谷線を利用していただきたい。

### 防災無線の放送、周知のあり方について

**問**

防災無線での放送、周知方法であるが、例えば合戦峯物産販売所の朝の市は、長期間放送されている。一定の周知効果があれば、区切りも大切であり、本来の目的とあり方について再考して頂きたい。

### 答 企画調整課長

合戦峯物産販売所管理組合から依頼があり、開館日の前日の土曜日、当日の朝放送を行っている。

### 民間業者の行政回覧について

**問**

民間の季節従業員募集チラシが回覧されたが、行政回覧は、行政に係る情報を広く村民に情報伝達する手段と考えるがどうか。

### 答 総務課長

民間業者から依頼を受け、各区長へ配布した。依頼を受けたといえ、民間業者であるので、今後は慎重に判断対応してまいりたい。



森田 俊介 議員

# 特用林産物振興協議会の 検証について (株)やまえ温泉と物産館加工 施設について

**問**

1 特用林産物振興協議会で  
行った竹林の有害鳥獣柵く  
ろわら地区の現在の管理に  
ついて

2 今後の竹林整備とタケノ  
コ生産や特用林産物の生産  
計画について維持管理、村  
所有者  
3 交付金によって加工品で  
あるご飯の友の販売拡大戦  
略について

**答 産業振興課長**

所有者の方で管理・指導  
を行っていききたい。

**問**

タケノコの収穫はない  
し、整備もできていない。

**答 産業振興課長**

「四季の山江便」として  
発送

**問**

全商品、山江村の産物と  
いう事で良いのか？

**答 産業振興課長**

山江村の方が生産された  
農産物、林産物を持ち込ん  
でいると理解している。

**問**

やまえ堂に委託された業  
務契約内容について

**答 産業振興課長**

福岡のコンサル委託会社  
の方で協議決定している。

**問**

(株)やまえの温泉、加  
工施設について、施設内外  
の実化運動、メンテナンス  
掃除修理について

**答 企画調整課長**

定期的に休館日を利用し  
て職員等で行っている。改  
修工事については議会にて  
予算を認めていただきなが  
ら行っている。

**問**

葛が巻いたり選定はし  
てないし、全然荒れ放題  
の状況と見受けられた。

**問**

物産館の栗まんじゅう  
とペースト工場について、  
製造に係った4名ないし  
5名の退社で支障はな  
かったのか。

**答 企画調整課長**

現在6名が就職し問題は  
無いと思っている。

**問**

栗まんじゅうの不良品で  
クレームがあったと聞いて  
いるが、取引先も減少して  
いるのではないか。

**答 企画調整課長**

そこは確認をしていな  
い。現在は支障なく運営を  
している。

**問**

本年度の栗の買い付けと  
加工品の生産目標は。

**答 企画調整課長**

剥き栗5トン、生栗14  
トン、栗饅頭約22万5千  
個、びつ栗だんご18万3  
千個を目標

**問**

現在新聞社等が記載し  
て、民間一企業のPRに見  
えるが、物産館のPRはど  
のような考えか。令和3年  
度の経営計画と対応の説明  
をお願いしたい。月1回の  
取締役会があることから、  
全議員が納得する説明をお  
願いしたい。

**答 村 長**

10月の全員協議会の方  
で報告することをお約束  
する。





立道 徹 議員

## 荒廃した森林の整備について 章鹿倉・万江保育園の施設民営化 について

### 避難所について 復興むらづくり推進について

**問**

森林を守り、林業振興を図るため、人工林の計画的な整備の推進についての考えは、

**答 産業振興課長**

人工林の間伐、下刈りは、私有林・村有林を集約した団地ごとに森林経営計画（5年計画）を策定し、国の補助金を活用し、計画的な手入れをしている。計画を策定していない団地では、森林環境譲与税の活用も視野に入れた管理を推奨できるような整備を進めている。

**問**

森林環境を守り、国土保全のために伐採ルールが必要である。実現に向け、国・県への要望をする考えは、

**答 産業振興課長**

現在、人吉球磨において、ルールブックを平成31年3月に策定している。（伐採・搬出・施工後の現場整理、安全作業など）また、定期的にパトロールも実施している。（事業者・県・市町村の合同で）伐採届け等の提出時に注意喚起を呼びかけており、国・県へのルール作り等の要望は考えていない。



**問**

国土保全・水源涵養・地球温暖化など、多面的機能を持つ森林、自然林を積極的に購入し、森林保全を守る考えは

**答 産業振興課長**

その目的、財源の確保など課題も多く、購入を勧めるという回答はできないが、森林環境譲与税の活用ができないか検討中である。

**問**

作業道の復旧の見通しについて

**答 産業振興課長**

作業道に通じる林道の災害復旧が進んでからとなる。現段階で、1年後、2年後にはという回答はできない。



植樹の様子（過去の写真より）



久保山 直巳 議員

# 災害発生から1年、 地域復旧スケジュール状況は！ 災害仮設住宅の入居者への、 生活再建に向けた最新情報提供を！

**問** 災害地域の現況について  
(仮設住宅入居されている地域)

生活地域が被災され、仮設住宅での生活をされている。

生活再建する上でも、地域の最新の復旧見通しを知りたいと思っておられるのではないかと入居されている被災地域の復旧スケジュールについて伺う。

## 答 建設課長

14区淡島地区については県道かさ上げ、村道橋の架け替えを令和3年度から令和5年度の3カ年での復旧工事を進める。

15区尾崎地区、宇那川や弥七橋周辺の工事は令和5年度までかかる見込み。

16区大川内地区、合子俣地区については、大川内地区の水道施設を今年度中に復旧、水無出口から山口地区、熊の原地区の県道工事(熊本県)は令和5年度ま

での完了を目指しているとの情報である。

## 問

8月11日に村営住宅、城内団地の仮設住宅入居者への再建築の方向性の説明されたと聞いているが、その内容について伺う。

## 答 建設課長

8月11日に2回目の意見交換を行っている、現在の建設地の安全度や対策について説明を行った。

参加者からは、「再建場所として、ほかの土地を含めて検討してほしい」などの意見を伺っている。

村としては、引き続き、建設地の検討をしながら、令和4年度末までの再建ができるよう計画を進めていく。



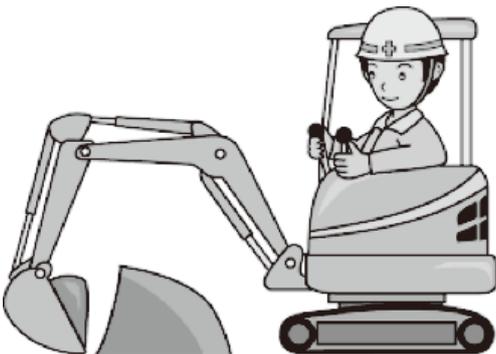
更地となった村営城内  
団地跡地

## 問

全員協議会の中で建設課長から年内が工事発注の山場とあったが、入札不調、不落、業者の諸事情による入札不参加についての対策はどのようにお考えか。

## 答 建設課長

9月3日に山江村で行われた入札会では不調になった案件もあった、今後も県の発注状況を注視しながら、早期復旧に向けて発注の再調整が必要と思っている。



# 令和3年第6回山江村議会臨時会

令和3年8月25日、令和3年第6回山江村議会臨時会が開催され、以下の2議案が可決されました。

承認第12号	専決処分事項の承認を求めることについて 令和3年度山江村一般会計補正予算（第4号）
議案第41号	公共工事請負変更契約の締結について

補正予算については、災害復旧に係る経費200万円を追加するものであります。公共工事請負変更契約の締結については、7月の臨時会にて否決された宇那川河川災害復旧工事の変更契約の締結に関するものでした。主な質疑はこちらです。

## 質 疑

### 赤坂議員

- 7月提案された時より1千200万程の減額となっているがその要因は？
- 公共工事の変更金額は、発注金額の20～30%が標準と言われているが、今回の割合は？
- 仮に分割発注した場合には村の持ち出し金額は？

## 答 弁

### 建設課長

- 熊本県発注の工事にて土砂を利用することになり、仮置き場への再搬出が可能になった。そのため運搬費の削減につながったのが要因。
- 約41%
- 現在この事業は国からの補助100%で実施しているが、分割した場合は1千200万円超が補助対象外となり、村の持ち出しとなる。

## 質 疑

### 横谷議員

- そもそも当初発注時における、現場の実情を踏まえた適切な積み上げに要因があるのではないか、設計書の積算について問う。

## 答 弁

### 建設課長

- 発注当初は尾寄崎地区3か所で賄う計画であったが、その正確な受入れ土量までは把握できていなかった、その点が見通せなかった。

# 令和3年第7回山江村議会定例会

令和3年9月7日から14日までの8日間、令和3年第7回山江村議会定例会が開催され、議員発議2件、条例改正2件、決算認定7件、補正予算7件、工事請負契約2件が可決されました。（追加日程分含む。）主な質疑はこちらです。

## 令和2年度一般会計決算の認定

### 質 疑

本田議員

○実質収支比率、実質収支額の増加の要因は？

### 答 弁

総務課長

○災害対応、コロナ禍における事業費の増が要因。

## 令和3年度一般会計補正予算（第5号）

### 質 疑

久保山議員

○災害アーカイブ推進委託料について

### 答 弁

企画調整課長

○豪雨災害時の記録史作成

### 質 疑

赤坂議員

○ふるさと応援寄附金謝礼について

### 答 弁

企画調整課長

○今回の補正は令和3年3月分の追加

### 質 疑

本田議員

○予備費の用途について

### 答 弁

総務課長

○臨時的に備え、財政運営対応として

### 質 疑

横谷議員

○温泉センター管路部分の里道払下げについて  
○淡島参道と県道復旧の概要

### 答 弁

村 長

○所有者の希望があれば、払下げ可能  
建設課長  
○5年度を計画、県道との接続が3m上昇

### 質 疑

森田議員

○寄贈される石倉の計画について

### 答 弁

教育課長

○今年度に活用計画書策定

# 令和3年第8回山江村議会臨時会

令和3年9月30日、令和3年第8回山江村議会臨時会が開催され、1議案が可決され、内容は宇那川河川災害復旧工事の変更契約についてでした。質疑はありませんでした。

## 「議員活動の1コマ」

10月6日熊本県町村議会議長会主催による議員研修がオンラインで開催され、流通経済大学教授の龍崎孝氏による講演を受けました。



## 公共施設の在り方に関する調査特別委員会が設置されました。

9月議会定例会の最終日に、追加発議として、特別委員会設置が可決されました。村が保有する施設の今後を見据え、議会目線の検証や課題を取りまとめ、村執行部へ提案していくことを目的としています。

## だんだんなあ

九月定例議会では、令和二年度決算の認定が提案され、昨年は七月豪雨とコロナウィルス対策など過去に例のない年であり、歳入歳出においても異例の決算となりました。歳入では、村税の徴収がよくなされているか、補助金は確保されているか、その他収入確保の努力は十分であったかなど、一方歳出では、支出が適法適正になされているか、不用額は妥当であるか、予算の流用が適正になされているかなどを審議審査して議決しました。

議会に提案された議案については、「質疑」「討論」「表決」と進行しますが、「質疑する」とはどのようなものか紹介いたしますが、「議員必携」では、質疑をすることによって、その議案の目的内容を十分ただし、その上で、自分の賛成反対の意見を決めるものであって、現に議題になっている事件に対してその疑問点を質するものであって、一般質問と違って、自分の意見を述べることはできないこととなっております。ただし、自己の見解を述べないと質疑の意味をなさないようなものまで禁止しているものではないとなっておりますが、基本的には自分の意見を述べることはできないという制約があります。ぜひ、傍聴をお待ちしております。

(文責 赤坂 修)  
 【山江村議会広報編集特別委員会】  
 委員長／赤坂 修  
 委員／久保山 直巳  
 本 田 龍 喜  
 中 村 龍 喜